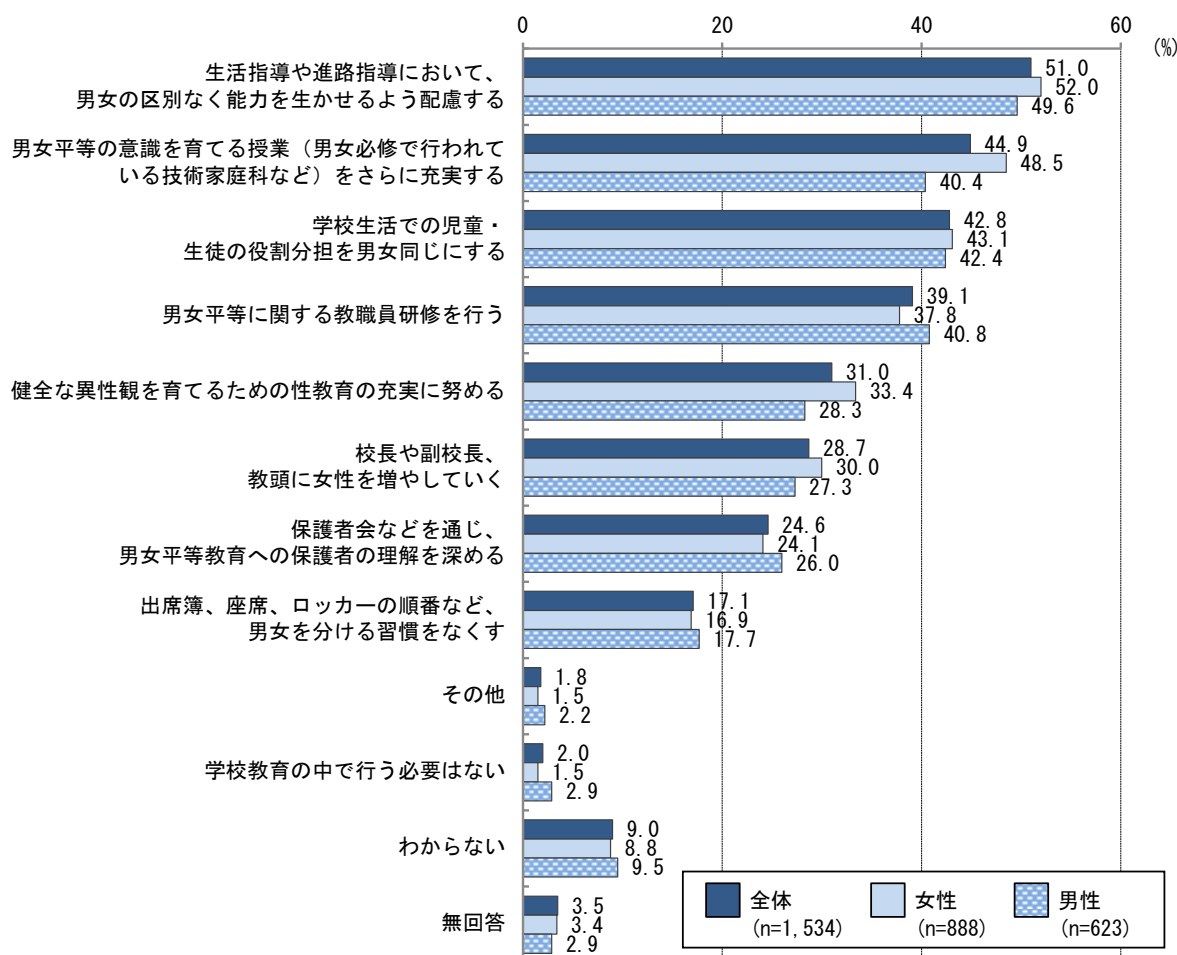


6 男女平等教育について

(1) 男女平等を推進していくために学校で行うとよいこと

問28 男女平等を推進していくために、学校、特に小・中・高等学校等で行うとよいと思うものはどれですか。(✓はいくつでも)

【図表 28-1 男女平等を推進していくために学校で行うとよいこと(性別)】



「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」が最も高い

男女平等を推進していくために学校で行うとよいことについて、「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」が 51.0%と最も高く、次いで「男女平等の意識を育てる授業(男女必修で行われている技術家庭科など)をさらに充実する」(44.9%)、「学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする」(42.8%)などの順となっている。

性別にみると、「男女平等の意識を育てる授業(男女必修で行われている技術家庭科など)をさらに充実する」は女性(48.5%)が男性(40.4%)を 8.1 ポイント上回っている。

※H16、H21、H26 調査では「男女平等を推進していくために、学校、特に小・中・高等学校で行うとよいと思うものはどれですか。」と聞いている。

【図表 28-2 男女平等を推進していくために学校で行うとよいこと(性年代別・上位8位)】

		n 数	生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう、配慮する	男女平等の意識を育てる授業（男女必修で行われている技術家庭科など）をさらに充実する	学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする	男女平等に関する教職員研修を行う	健全な異性観を育てるための性教育の充実に努める	校長や副校長、教頭に女性を増やしていく	保護者会などを通じ、男女平等教育への保護者の理解を深める	出席簿、座席、ロッカーの順番など、男女を分ける習慣をなくす	(%)
全 体		1,534	51.0	44.9	42.8	39.1	31.0	28.7	24.6	17.1	
年代別	女性	20歳未満	18	55.6	27.8	44.4	5.6	33.3	44.4	5.6	27.8
		20歳代	54	51.9	44.4	42.6	38.9	50.0	37.0	33.3	31.5
		30歳代	89	40.4	47.2	37.1	42.7	39.3	39.3	24.7	21.3
		40歳代	132	49.2	47.7	37.1	38.6	39.4	30.3	19.7	24.2
		50歳代	143	58.7	54.5	49.0	32.2	30.8	28.0	23.8	17.5
		60歳代	176	59.1	56.8	48.9	44.3	30.7	34.7	26.7	14.8
		70歳以上	269	49.8	43.5	42.0	36.4	29.0	22.7	24.2	9.7
	男性	20歳未満	15	26.7	33.3	46.7	33.3	13.3	20.0	13.3	20.0
		20歳代	39	46.2	46.2	46.2	51.3	41.0	25.6	30.8	25.6
		30歳代	45	53.3	33.3	48.9	37.8	33.3	15.6	15.6	20.0
		40歳代	95	55.8	45.3	50.5	43.2	34.7	33.7	24.2	15.8
		50歳代	114	44.7	39.5	43.0	36.8	28.9	36.8	23.7	21.9
		60歳代	123	52.8	40.7	42.3	31.7	23.6	29.3	26.0	21.1
		70歳以上	191	49.2	39.8	35.1	47.1	25.1	20.9	30.4	11.5

1位

2位

3位

1位 2位 3位

性年代別にみると、「健全な異性観を育てるための性教育の充実に努める」は女性の 20 歳代で5割、「男女平等に関する教職員研修を行う」は男性の 20 歳代で5割超と高くなっている。

【図表 28-3 男女平等を推進していくために学校で行うとよいこと(地域別・上位8位)】

		n 数	生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう、配慮する	必修で行われている技術家庭科など）をさらに充実する	男女平等の意識を育てる授業（男女必修で行われている技術家庭科など）をさらに充実する	学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする	男女平等に関する教職員研修を行う	健全な異性観を育てるための性教育の充実に努める	校長や副校長、教頭に女性を増やしていく	保護者会などを通じ、男女平等教育への保護者の理解を深める	出席簿、座席、ロッカーの順番など、男女を分ける習慣をなくす	(%)
全 体		1,534	51.0	44.9	42.8	39.1	31.0	28.7	24.6	17.1		
地域別 居住	備前県民局管内	756	52.4	46.8	42.7	40.3	32.8	31.0	23.5	16.1		
	備中県民局管内	612	50.2	43.1	43.0	37.6	28.8	26.3	24.8	18.0		
	美作県民局管内	158	48.7	43.0	43.7	39.9	31.6	27.8	29.1	19.6		

1位 2位 3位

地域別にみると、「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」はすべての地域で最も高くなっている。「男女平等の意識を育てる授業(男女必修で行われている技術家庭科など)をさらに充実する」、「学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする」もすべての地域で上位となっている。

【図表 28-4 男女平等を推進していくために学校で行うとよいこと(経年比較・上位8位)】

		n 数	生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう、配慮する	男女平等の意識を育てる授業（男女必修で行われている技術家庭科など）をさらに充実する	学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする	男女平等に関する教職員研修を行う	健全な異性観を育てるための性教育の充実に努める	校長や副校長、教頭に女性を増やしていく	保護者などを通じ、男女平等教育への保護者の理解を深める	出席簿、座席、ロッカーの順番など、男女を分ける習慣をなくす	(%)
経 年 比 較	H16	2,064	52.6	31.6	38.4	25.7	23.4	24.2	24.6	12.6	
	H21	1,490	48.1	29.9	35.7	22.3	19.2	18.9	24.9	10.7	
	H26	1,386	49.9	33.3	37.3	27.5	18.9	20.4	24.1	10.4	
	R1	1,532	48.2	38.3	37.1	29.6	18.8	22.8	23.9	12.3	
	R6	1,534	51.0	44.9	42.8	39.1	31.0	28.7	24.6	17.1	

1位 2位 3位

経年比較でみると、「健全な異性観を育てるための性教育の充実に努める」は令和6年調査(31.0%)が令和元年調査(18.8%)を 12.2 ポイント上回っている。

※「男女平等の意識を育てる授業(男女必修で行われている技術家庭科など)をさらに充実する」は、H16 調査では「現在、男女必修で行われている家庭科をはじめとして、男女平等の意識を育てる授業をさらに充実する」となっている。「校長や副校長、教頭に女性を増やしていく」は、H16、H21、H26 調査では「校長や教頭に女性を増やしていく」となっている。